令和5年度 第35回 大学院セミナー

令和5年7月11日

分 野 名	田兴庆七兴 八昭
カ野石	理学療法学 分野
(責任者名)(内線)	責任者名(沖田 実) 内線(7965)
演 題	神経科学から紐解く痛みのリハビリテーション
講師等	畿央大学大学院 健康科学研究科 准教授
	大住 倫弘 先生
概要	痛みの病態にはペインマトリクスにおける解剖学的・生理学的変化が密接に関連している。そのため、ペインマトリクスの正常時の神経解剖・生理学ならびに病態時に惹起される変化を理解しておくことが効果的な痛みに対するリハビリテーション戦略を立案する上で不可欠となっている。そこで、本セミナーでは、痛みの神経科学について概説していただくとともに、痛みの病態ならびにそれに基づいたリハビリテーション戦略についても解説いただく。 The pathology of pain is closely related to anatomical and physiological changes in the pain matrix. Therefore, an understanding of the normal neuroanatomy and physiology of the pain matrix as well as the changes induced during pathologic conditions is essential for designing effective rehabilitation strategies for pain. In this seminar, we ask you to outline the neuroscience of pain, as well as explain the condition of pain and rehabilitation strategies based on it.
開催日時	令和 5 年 10 月 11 日(水) 19:00 ~ 20:30
場所	オンライン(Zoom)
備考	(オンラインの場合)受講を希望する場合は、ID・パスワードをお伝えしますので、10月10日(火)の17:00までに必ずご連絡ください。(Email:ynishi@nagasaki-u.ac.jp)担当:西 If you would like to participate in this seminar and need Zoom ID and Password, please contact Assistant Prof. Nishi by 17:00 p.m. on October 10. (Email:ynishi@nagasaki-u.ac.jp)

■先端医療科学特論(基礎編)	□先端医療科学特論(臨床編
□先端新興感染症病態制御学特論	□先端放射線医療科学特論
■日本語(Japanese)	□英語(English)
□対面(Face to face)	■オンライン(Online)